

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 23, 事業名, 役員会の運営方法の改善・各種組織の整理, 戦略コード, 3, 戦略名, 事業者が主役の商工会, 担当部名, 総務部, 担当課名, 総務・人材育成課, 担当課長名, 市井 仁, 施策コード, 12, 施策名, トップマネジメント力の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会の組織運営や事業推進、地域振興等について、経営意識の希薄化や事務局主導の執行体制の現状がある。

2. 事業のねらい

事務局主導の執行体制を改善し、役職員がそれぞれの役割を果たし、事業者と地域の発展に寄与する組織の実現を目指す。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, A, H30, H31, H32, H33

平成29年度に常設委員会(総務・企画、会員・地域振興、地域対策)を廃止、人事交流審議委員会を人事管理委員会に整理統合し、組織体制の大幅な見直しを図った。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

これまでの常設委員会は、限られた委員による意見聴取の場であったが、役員会による幅広く活発な議論が行われることにつながった。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include items 54, 55, 56.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 56, 取組コード, 56, 取組コード, 指標名, 総(代)会・役員会の本人出席率, 指標名, 役員会出席率, 指標名, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

無駄を省いた効率的な組織体制の確立と全役員による幅広い議論による議決は、組織力の強化には必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

当初の計画通り、各委員会等の見直しを行っており、概ね順調に推移している。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

効率的な組織体制の確立が、コスト(事務負担等)の削減に寄与している。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

組織が抱える重要課題に対して、役員会による幅広い議論を経た議決につながっている。

3. 課題

今後は、役員会の出席率を向上させる取組を行うことが課題となる。

4. 今後の対応方針(改善点)

役員セミナーによる役員会の組織運営への参画意識の醸成を図る。